

会員業績一覧

(2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日まで)

*会員の記載は五十音順(自己申告に基づいて作成)

石山 宏(山梨県立大学教授)

- 『検定簿記講義 / 2 級商業簿記 <2024 年度版>』(共著)(渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著)中央経済社, 2024 年 3 月。
『検定簿記ワークブック / 2 級商業簿記 <検定版第 10 版>』(共著)(渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著)中央経済社, 2024 年 3 月。
『勘定科目・仕訳事典 <第 3 版>』(共著)(新田忠誓編著)中央経済社, 2024 年 8 月。
『最新の収益認識会計』(共著)(岩崎 勇編著)税務経理協会, 2024 年 10 月。

市川 紀子(駿河台大学教授)

- 『総合研究所研究プロジェクト【地域研究部門】研究会報告要旨』(研究会報告要旨)『駿河台大学地域研究』第 5 号, 2024 年 2 月。
『全経簿記能力検定試験標準問題集 1 級商業簿記・財務会計』(共著)(佐藤信彦監修, 小野正芳編著)中央経済社, 2024 年 3 月。
『「概念フレームワーク」に関する先行研究調査(1)」(資料)『駿河台経済論集』第 33 号第 2 号, 2024 年 3 月。
『エッセンス簿記会計(第 20 版)』(共著)(新田忠誓・吉田智也他著)森山書店, 2024 年 4 月。
『勘定科目・仕訳事典(第 3 版)』(共著)(日本簿記学会監修, 新田忠誓編集代表, 横山和夫, 尾畑裕, 岩崎健久, 吉田智也編著), 中央経済社, 2024 年 8 月。
『会計観の変容が簿記処理に与える影響—収益認識会計基準を題材に—』『日本簿記学会年報』第 39 号, 2024 年 8 月。
『最新の収益認識会計』(共著)(岩崎勇編著)税務経理協会, 2024 年 10 月。
『わが国の収益認識基準と概念フレームワークの関係性からみる問題点の整理』(フルペーパー)『会計理論学会第 39 回大会統一論題「収益認識の現代的意義」』(統一論題座長岩崎勇), 2024 年 9 月。
『大学における SDGs 会計教育』(共著)(大槻晴海)『SDGs 関連開示情報の会計教育 最終報告書』(日本会計教育学会スタディ・グループ「SDGs 関連開示情報の会計教育」編, 研究代表者: 梶原太一)最終報告書, 2024 年 10 月。

伊藤 和憲(専修大学教授)

- 『マテリアリティ決定プロセスに関する事例研究』『専修商学論集』第 118 号, 2024 年 1 月。
『財務業績に影響を与える CSR 指標に関する分析』『北海学園大学開発研究所』第 113 巻, 2024 年 3 月。
“The Concept of Corporate Reputation Measurement: The Case of Japanese Companies”, *Journal of Accounting, Ethics & Public Policy*, Vol.25, No.1, 2024 年 3 月。
『統合報告書の経営課題への貢献: イタリア中小企業のケーススタディ』『経営論集』第 71 巻 3 号, 2024 年 3 月。
『中小企業における統合報告書の意義』『中小企業会計研究』第 10 号, 2024 年 11 月。

岩崎 勇(大阪商業大学教授)

- 『最新の収益認識会計』(編著)税務経理協会, 2024 年 10 月。

岩田 弘尚(専修大学教授)

- 『わが国におけるサブスクリプション・ビジネスの KPI の開示に関する実態調査報告』『専修マネジメント・ジャーナル』第 14 巻 2 号, 2024 年 12 月。

岡本 紀明(立教大学教授)

- 『在外研究のススメ(2022 年度ロンドン在外研究体験記)』『グローバル会計研究』第 5 号, 2024 年 3 月。
『インパクト加重会計の可能性—特集 投資を呼び込むサステナ開示のヒントを探る!インパクト投資の最前線』

『企業会計』第76巻第5号, 2024年5月。

Okamoto, N. (2024). *Institutional Change and Performativity: The Impact of Globalization and Financialization on Accounting in Japan*. Palgrave Macmillan (<https://doi.org/10.1007/978-3-031-53393-8>).

Okamoto, N. (2024). "Financialisation in the context of cross-shareholding in Japan: The performative pursuit of better corporate governance," *Journal of Management and Governance*, Vol. 28, pp. 337–357, (<https://doi.org/10.1007/s10997-021-09620-7>).

Reem Shaker, Ahmed Zamel, Hosam Moubarak, Noriaki Okamoto, and Hebatallah Badawy (2024). "The moderating effect of joint audit on the relationship between the readability of financial statements footnotes and audit effort: evidence from Egypt," *Afro-Asian Journal of Finance and Accounting*, forthcoming (<https://doi.org/10.1504/aajfa.2024.10067221>).

長田 美悠子 (中央学院大学准教授)

『経営学総論』(共著)(日隈信夫編著)八千代出版, 2024年3月。

「コンピュータとネットワークの初期的結合の考察—タイムシェアリング・システムの形成を巡って—」『情報科学研究』第44巻, 2024年3月。

「半導体産業の環境問題—半導体企業の環境会計に向けた前梯的考察—」『商経論叢』第38巻第2号, 2024年3月。

「ロボット産業の現状分析—ロボットメーカーの財務分析への前梯的考察—」『商経論叢』第39巻第1号, 2024年9月。

越智 信仁 (関東学院大学教授)

『中小企業決算の透明性と信頼性—改善に向けた実証・理論・実務研究』(編著)同文館出版, 2024年3月。

「岡野泰樹著『統合報告監査論—サステナビリティ時代の信頼性保証』(中央経済社)」(書評)『企業会計』第76巻第6号, 2024年6月。

「中小会社決算の信頼性向上に必要な制度インフラ再整備」『会計監査ジャーナル』第830号, 2024年8月。

「サステナビリティ情報に関する中小企業の意識と実践—質問票調査からみた現状と課題」『産業経理』第84巻2号, 2024年10月。

「中小企業財務報告の透明性改善に向けた多面的研究(課題研究委員会・最終報告)」『中小企業会計研究』第10号, 2024年11月。

小野 正芳 (日本大学教授)

『全経簿記能力検定試験標準問題集1級商業簿記・財務会計』(編著)中央経済社, 2024年3月。

『勘定科目・仕訳事典(第3版)』(共著)中央経済社, 2024年8月。

梶原 太一 (高知県立大学准教授)

「“法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律”の制定と寄附文化の醸成」『Humanismus』(高知県立大学 Humanismus 編集委員会編)第35号, 2024年3月。

「スタディ・グループ中間報告 SDGs 関連開示情報の会計教育」『会計教育研究』第12号, 2024年6月。

「SDGs 関連開示情報の会計教育の目的」『SDGs 関連開示情報の会計教育 最終報告書』(日本会計教育学会スタディ・グループ「SDGs 関連開示情報の会計教育」編, 研究代表者: 梶原太一), 2024年10月。

「SDGs 会計教育に関する文献のレビュー」『SDGs 関連開示情報の会計教育 最終報告書』(日本会計教育学会スタディ・グループ「SDGs 関連開示情報の会計教育」編, 研究代表者: 梶原太一), 2024年10月。

金子 友裕 (東洋大学教授)

「法人税法における帳簿書類」『税務事例研究』197号, 2024年1月。

『中小企業決算の透明性と信頼性』(共著)(越智信仁編著)同文館出版, 2024年2月。

『法人税法入門講義(第8版)』中央経済社, 2024年3月。

『租税正義の実践的展開』(共著)(増田英敏編著)中央経済社, 2024年3月。

「インボイス制度と簿記 座長解題」『日本簿記学会第40回関東部会予稿集』2024年6月。

「役員給与課税における実質基準適用に関する検討」『租税訴訟』17号, 2024年6月。

「統一論題報告 インボイス制度及び電帳法の下での帳簿制度の変容<シンポジウム>」『税務会計研究』35号、2024年7月。

「業績連動給与における指標に関する検討」『租税実務研究』15号、2024年9月。

金子 善行（帝京大学准教授）

『会計学・簿記入門 第17版』（共著）白桃書房、2024年3月。

『エッセンス簿記会計（第20版）』（共著）森山書店、2024年4月。

「リース会計基準案等の公表と法人税法上の論点」『租税研究』第895号、2024年5月。

「リース会計の変容とリース課税の問題点—残された検討課題—」『會計』第206巻第1号、2024年7月。

『勘定科目・仕訳事典 第3版』（共著）（日本簿記学会監修、新田忠誓編集代表）中央経済社、2024年8月。

栢田 龍三（元専修大学教授）

「収益認識の会計基準の設定過程」『専修商学論集』第118号、2024年1月。

「会計制度形成の論理—最終講義—」『会計学研究』第50号、専修大学会計学研究所、2024年3月。

「公正価値と収益認識の会計基準」『會計』第205巻第4号、2024年4月。

「会計目的と収益認識の会計基準」『専修商学論集』第119号、2024年7月。

「FASB/IASBにおける収益認識の会計基準の設定過程の分析—公正価値の是認と却下—」岩崎勇編著『最新の収益認識会計』税務経理協会、2024年10月。

川津 大樹（星槎道都大学専任講師）

「Trueblood 報告書における質的特性の形成過程に関する分析—公聴会とメンバー間の内部ロビングを中心として—」『専修商学論集』第118号、2024年1月。

「国際サステナビリティ基準審議会の設立過程に関する考察」『グローバル会計研究』第5号、2024年3月。

「サステナビリティ報告における重要性（materiality）概念の対立に関する考察」『日本知的資産経営学会誌』第10号、2024年11月。

姜 周亨（名古屋大学講師）

Kang, J. (2024). Impact of Tax Credit Reforms on R&D Investments: A GMM Analysis of Japanese Firms. Proceedings of the 21st Asian Academic Accounting Association Annual Conference. pp. 1-18. https://www.foura.org/download/foura_2024/proceedings/337.pdf

菊谷 正人（法政大学名誉教授）

「無形資産の再測定と償却に関する理論的考察」『経営志林』第60巻第4号、2024年1月。

「所得税法における雑所得に関する問題点」『経営志林』第61巻第2号、2024年7月。

「働き方の変容に伴う雑所得に関する課税問題 — 雑所得と事業所得の所得区分を中心にして —」『租税実務研究』第15号、2024年9月。

櫛部 幸子（大阪学院大学准教授）

「IFRS for SMEsの改訂に関する一考察：情報の要請・包括レビュー、公開草案のコメントレター分析を中心に」『産業経理』83巻4号、2024年1月。

「税理士の支援が中小企業の資金調達と返済に与える影響」（共著）『中小企業会計研究 2024』第10号、2024年11月。

「Robotic Process Automation（RPA）が税理士業務等に与える影響」（共著）『中小企業会計研究 2024』第10号、2024年11月。

郡司 健（大阪学院大学教授）

「転換期萩藩の会計制度—宝暦の改革と撫育制度の創設—」『大阪学院大学商・経営学論集』第50巻第1号、2024年9月。

「江戸前期長州藩（萩藩）の会計制度の変遷」『会計史学会年報 2023年度』第42号、2024年12月。

柯 瓊鳳（東呉大学教授）

- 「台湾半導体産業の競争戦略と取引コスト」日台シンポジウム：日台の新たな未来関係を目指して第1回大会（東呉大学），2024年3月。
- 「論社區幣之法制—以證券交易法為中心（地域通貨の法制度について—証券取引法を中心に）」（莊永丞・柯瓊鳳共著）『東呉法律學報（Soochow Law Review）』（TSSCI）第36巻第2期，2024年10月。
- 「應用文本分析於金融業內控缺失之態樣分析（テキスト分析を金融機関の内部統制の不備分析に応用）」『主計月刊』，第826号，86-93頁，2024年10月。
- 「RPA於會計業務流程之研究：交易處理與技術應用（會計業務プロセスにおけるRPAに関する研究：トランザクション処理と技術応用）」（柯瓊鳳・曾秀娟共著）『當代會計』（TSSCI）。

坂内 慧（帝京大学助教）

- 「学会展望台 日本簿記学会第39回全国大会」『産業経理』第83巻第4号，2024年1月。
- 「基金會計システムにおける會計責任強調の意義—Oakey（1921）に依拠して—」『帝京經濟學研究』第57巻第2号，2024年3月。
- 『エッセンス簿記會計（第20版）』（共著）（新田忠誓編著）森山書店，2024年4月。
- 『勘定科目・仕訳事典（第3版）』中央經濟社，2024年8月。
- 「米政府會計制度における財務報告モデルの改良— GASB No.34 と GASB No.103 の損益計算構造の検討—」『會計』第206巻第6号，2024年12月。

神納 樹史（東京經濟大学教授）

- 「連結のれんの処理と計上の要件を探る—米国連結會計制度設計の過程における所説の変遷を抛り所として—」『東京經大会誌（経営学）—中光政教授退任記念号—』322号，2024年2月。
- 『會計学簿記入門（第17版）』（共著）白桃書房，2024年3月。
- 『エッセンス簿記會計（第20版）』（共著）（新田忠誓，吉田智也他著），森山書店，2024年4月。
- 「少数株主持分の処理と少数株主の保護」『會計』第205巻第6号，2024年6月。
- 「サステナビリティ情報における連結會計単位に関する考察— IFRS10 と『連結財務諸表に関する會計基準』の比較から探る—」『東京經大会誌（経営学）—柴田高教授退任記念号—』324号，2024年12月。

塚原 慎（駒澤大学准教授）

- 『會計学・簿記入門（第17版）』（共著）（新田忠誓・佐々木隆志編著）白桃書房，2024年3月。
- 『エッセンス簿記會計（第20版）』（共著）（新田忠誓・吉田智也他著）森山書店，2024年4月。
- 『全経簿記能力検定試験標準問題集2級商業簿記』（共著）（佐藤信彦監修・高橋聡編著）中央經濟社，2024年4月。
- 『勘定科目・仕訳事典（第3版）』（共著）（新田忠誓編集代表・横山和夫・尾畑裕・岩崎健久・吉田智也編）中央經濟社，2024年8月。

中村 亮介（筑波大学准教授）

- 『全商財務諸表分析検定試験テキスト』（共著）（新田忠誓監修）実教出版，2024年2月。
- 「融資契約における會計情報の相対的重要性と私的情報」（共著）『會計』第205巻第3号，2024年3月。
- 『学部生のための企業分析テキスト—業界・経営・財務分析の基本—（改訂版）』（共著）（高橋聡・福川裕徳・三浦敬編著）創世社，2024年3月。
- 『會計学・簿記入門（第17版）』（共著）白桃書房，2024年4月。
- 『全経簿記能力検定試験標準問題集2級商業簿記』（共著）（佐藤信彦監修・高橋聡編著）中央經濟社，2024年4月。
- 『エッセンス簿記會計（第20版）』（共著）森山書店，2024年4月。
- 「英文学術雑誌における近年の簿記研究」（共著）『簿記研究』第7巻第1号，2024年6月。
- 「會計数値を使った業績連動報酬の利用に関するレビューおよび実態分析」日本會計研究学会特別委員会中間報告書『コーポレート・ガバナンスの変革が會計に及ぼす影響に関する研究』，2024年8月。
- 『勘定科目・仕訳事典（第3版）』（共著）（日本簿記学会監修，新田忠誓編集代表）中央經濟社，2024年8月。

“The Relationship between Pay Ratio and Firm Value /Performance,” (共著), 21st Asian Academic Accounting Association Annual Conference, Proceedings, 2024 年 11 月.

長濱 照美 (千葉経済大学専任講師)

「付加価値計算書の可能性—ステークホルダー資本主義と『平等』—」『千葉経済論叢』第 71 号, 2024 年 12 月。

西山 一弘 (帝京大学准教授)

『会計学・簿記入門 (第 17 版)』(共著) (新田忠誓・佐々木隆志編著) 白桃書房, 2024 年 3 月。

『エッセンス簿記会計 (第 20 版)』(共著) (新田忠誓・吉田智也他著) 森山書店, 2024 年 4 月。

『全経簿記能力検定試験標準問題集 2 級商業簿記』(共著) (佐藤信彦監修・高橋聡編著) 中央経済社, 2024 年 4 月。

『勘定科目・仕訳事典 (第 3 版)』(共著) (日本簿記学会監修, 新田忠誓編集代表) 中央経済社, 2024 年 8 月。

「保険契約の会計処理における収益の繰延べ」『会計』第 206 巻第 4 号, 2024 年 10 月。

藤井 秀樹 (京都大学名誉教授・金沢学院大学教授)

『フランス会計の歴史と制度』(共編著), 白桃書房, 2024 年 3 月。

「2021～2022 年度共同研究報告: 地方創生とユニバーサルサービスのあり方に関する経済学的研究—郵政事業のフィールド調査を通じて—」(共著), 『金沢学院大学紀要』第 22 号, 2024 年 3 月。

「令和 5 年内閣府有識者会議最終報告に見る公益法人会計制度改革の意義と特徴—公益充実資金制度の創設提案を中心に—」『金沢学院大学紀要』第 22 号, 2024 年 3 月。

「公益法人制度改革に関する実務者意識のアンケート調査の結果」『公益・一般法人』No.1088, 2024 年 3 月。

『最新の収益認識会計』(共著) (岩崎勇編著) 税務経理協会, 2024 年 10 月。

松下 真也 (京都産業大学教授)

「複式簿記による損益計算と取引意思決定の指針機能の検討」『会計』第 205 巻第 2 号, 2024 年 2 月。

『会計学・簿記入門 (第 17 版)』(共著) 白桃書房, 2024 年 3 月。

「英文学術雑誌における近年の簿記研究」『簿記研究』第 7 巻第 1 号, 2024 年 6 月。

溝上 達也 (松山大学教授)

『会計学・簿記入門 (第 17 版)』(共著) 白桃書房, 2024 年 3 月。

『学部生のための企業分析テキスト—業界・経営・財務分析の基本— (改訂版)』(共著) 創成社, 2024 年 3 月。

『勘定科目・仕訳事典 (第 3 版)』(共著) (日本簿記学会監修, 新田忠誓編集代表) 中央経済社, 2024 年 8 月。

「キャッシュ・フロー計算書の役割に関する一考察」『会計』第 206 巻第 5 号, 2024 年 11 月。

吉田 智也 (中央大学教授)

『会計学・簿記入門 第 17 版』(共著) 白桃書房, 2024 年 3 月。

『エッセンス簿記会計 (第 20 版)』(共著) 森山書店, 2024 年 4 月。

『勘定科目・仕訳事典 第 3 版』(共編著) (日本簿記学会監修, 新田忠誓編集代表) 中央経済社, 2024 年 8 月。

『全経簿記能力検定試験標準問題集 上級商業簿記・財務会計』(共著) (佐藤信彦監修, 田代樹彦・山田康裕編) 中央経済社, 2024 年 8 月。

「分記法を学習することの意義」『商業資料』122 号, 2024 年 9 月。

「複式簿記の拡張可能性—多式簿記の検討—」『経理研究』第 63 号, 2024 年 12 月。